

令和4年9月29日
参考資料

厚木基地内での泡消火薬剤放出の追加情報について

厚木基地内で泡消火薬剤が放出された事案について、昨日(28日)夜、防衛省から追加の情報提供があり、本日(29日)、防衛省に口頭要請を行いましたのでお知らせいたします。

【防衛省(南関東防衛局)からの情報提供の概要】

- 27日夜、米側より防衛省に泡消火薬剤が混合した水が蓼川に流出した旨、続報があった。
- 防衛省で事実関係を確認したところ、28日、米側から以下の説明を受けた。

(米側の説明)

- ・ 24日未明に放出された泡消火薬剤が混合した水の一部(不明量)が、調整池を閉鎖する前に蓼川へ流出していた。
 - ・ 今回流出した泡消火薬剤は、新型に交換する前の旧型であり、有機フッ素化合物(PFOS等)を含んでいる。
 - ・ 28日、格納庫地区、施設・区域内の蓼川及び調整池において、サンプリングを実施しており、今後、分析を行う計画である。
 - ・ 調整池と蓼川のゲートは閉鎖を継続している。
 - ・ 引き続き、原因究明及び再発防止に努める。
- 28日、防衛省(南関東防衛局)において蓼川の水を採取(2か所)した。

【防衛省(南関東防衛局)に口頭要請した事項】

- ・ PFOS等の更なる流出が決して生じることがないように、万全の対策を講じること。
- ・ 泡消火薬剤の放出量や蓼川への流出量等について早急に情報提供すること。
- ・ 早急に原因究明を行い、適切な再発防止策をとること。
- ・ 県による厚木基地内での立入調査を実現すること。
- ・ 米軍及び防衛省で実施しているサンプリングについて、早急に調査結果を情報提供すること。
- ・ 厚木基地におけるPFOS等の現在の保管・使用状況及び代替品への交換時期等について、早急に情報提供すること。等

【その他:県による現地調査について】

- 27日、蓼川等3地点で河川水を採取し、追加情報を受け、分析を開始した。

問合せ先

神奈川県政策局基地対策部基地対策課(県による現地調査以外について)

課長 館野 電話 045-210-3370

神奈川県環境農政局環境部大気水質課(県による現地調査について)

課長 関 電話 045-210-4120